



インスピレーションになるろ



2018-2019 年度

国際ロータリー会長 / パリ・ラシン  
2690地区ガバナー / 末長 範彦

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F  
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816  
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: [office@hirata-rotary.jp](mailto:office@hirata-rotary.jp)  
9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

会長 / 小汀 泰之 副会長 / 持田 稔樹  
幹事 / 來間 久 会計 / 黒田 昌弘

■例会プログラム

例会日	卓話者	演題
8月9日	出雲文化伝承館 副館長 藤原 隆 様	没後 200 年 松平不味 — 茶と人となり —
8月16日	休 会	
8月23日	会員 原 伸雄	新入会員スピーチ
8月30日	ガバナー補佐 土井豆 勝磨 様	

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前々回補正出席率
45	29	16 (5)	72.5 %	77.5 %

■欠席者

黒田 / 原孝 / 石原輝 / 石原俊 / 加藤 / 恒松 / 原伸 / 松浦 / 内田  
三好 / 園山 (山根 / 牧野 / 遠藤 / 大谷厚 / 岩浅)

■来訪者

なし

■メイクアップ

8/5 田中(岡山)

\*\*\*\*\*

■次回例会受付当番

(8月23日) 田中久雄 / 福田磨寿穂 / 河原治子  
(8月30日) 原 伸雄 / 原 孝士 / 原 泰久

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

月	出雲中央	8/13(-)	9/10	松江南	8/13	8/20	9/3
火	出雲			松江しんじ湖	8/14	9/4	9/18
水	大社	8/22		松江	8/15	9/5	
		8/15・9/19・9/26(-)					
木		(-) ; ビジター受付	なし	松江東	9/6	8/16・9/27(-)	
金	出雲南	8/10(-)	8/24				
		8/31(-)					

■会長挨拶

先週の納涼例会には、会員の皆様をはじめ沢山の女性の皆様をお迎えし、楽しい一時を持つことができました。ご協力を頂きありがとうございました。また、出席親睦委員会の皆様には、楽しい会に盛り上げて頂き、ありがとうございました。

さて、今日は「職業奉仕」について考えてみたいと思います。唐代の詩人・李白の言葉に「天 我が材を生ずる 必ず用あり(てん わがざいをしようずる かならずようあり)」その意味は、天は自分という人間をこの世に生んだ、天が生んだ自分には必ず用、即ち役割、使命があると解釈できる。せっかく人間としてこの世に生まれてきた。自らの使命に気づき、それを果たさないと生まれてきた甲斐が無い、と李白はその想いをこの詩に託したのだろうと筆者(月刊致知 編集人藤尾秀昭氏)は言います。では、「どうしたら人は自らの用を知ることができるのか。人間から心、道理を取り除いてしまうと、鳥や獣と何ら変わらない。換言すれば、人は、志や理想をもって初めて人となる。即ち、志、夢、理想を持つことこそが用を知るための前提だ。そしてその上で、自分の仕事に精一杯打ち込み、人は仕事を通してしか自分を磨くことはできない」と続けます。森信三氏は「職業とは人間各自がその生を支えると共に、さらにこの地上に生を受けたことの意義を実現するために不可避の道である。されば、職業天職観に人々はもっと徹すべきであろう」と述べ、仕事を天職と心得て打ち込みなさいと教えます。

また、『易経』は、「復はそれ天地の心を見るか」といい「休まず、続ける」こ

とだと。復は繰り返すこと。繰り返すことは天地の心と同じだ。天地は悠久の昔から同じことを繰り返して地球を生み、そこに単細胞生命を生み、人間を生んだ。一つのことを黙々と繰り返していくと、そこに大変な得力が現れてくるということだろうと。将棋の永世七冠を獲得した羽生善治氏は「10年、20年、30年、同じ姿勢、同じ情熱を傾けられることが才能だと思う」と述べておられたそうです。

心に夢、理想を持ち、それを実現するために、まずまず、ずらずら、精神を仕事に打ち込んでいく人に、天はその用を知らしめてくれるのではないかと筆者はまとめています。

私は、この一文に触れて、ロータリーの「職業奉仕」とは、各々の会員が、この「用(役割・使命)」知るために努力を続けていく、その延長線上に自ずと実現できるものであるように思えました。今日は、私の心に残った一文を紹介しました。本日もよろしくお願い致します。

■幹事報告

1. ロータリーレートの変更

8/1より 1ドル 112円 (現行 110円)

2. 「クラブ米山記念奨学委員長研修会」ならびに

「ロータリー米山奨学生・米山学友親睦会」開催のご案内

日 時 9月2日(日) 受付 10:00~10:30  
研修会 10:30~12:00  
親睦会 12:30~14:30

場 所 岡山国際交流センター

当クラブ佐々木哲也国際奉仕委員長 出席致します。

3. 事務局休局(盆休) 8/13~16

■スマイル

小汀 (藤原様、本日はようこそ。よろしくお願いします。)

飯塚大 (藤原様ようこそいらっしゃいました。いつもお世話になります。)

久家 (出雲文化伝承館藤原副館長様ようこそおこしいただきありがとうございます。不味公のお話し楽しみにしております。)

■スピーチ・例会行事

「没後 200 年 松平不味 — 茶と人となり —」

出雲文化伝承館 副館長 藤原 隆 様

禪(大徳寺)高僧に学ぶ

10歳 遠州流

17歳 藩を継ぐ

18歳 石州流(幕府関係のため)

21歳 不味を名のる

27歳 古今名物の本を著す

秀いでいた所

・松江藩の財政を立て直した。

文化文政の時代(町人が台頭し始めた頃)、七代不味公は2歳。

その当時、三代~六代へと借財がつづき、74万両の借金あり。

朝鮮人参、木綿、今市きめぐり道具、藤名焼等を奨励。

幕末には借財がなくなり、富裕県となった。

・集めていた名物を分類した。

・茶に文学性をもたらした。